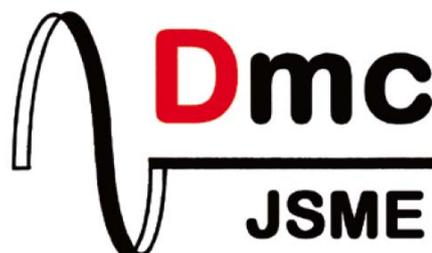
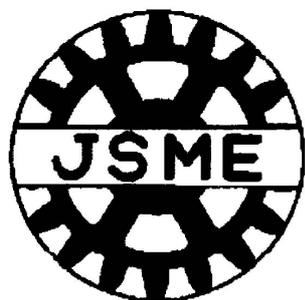


日本機械学会
機械力学・計測制御部門
30周年記念 部門史



2017年3月

日本機械学会 機械力学・計測制御部門
30周年記念部門史

はじめに

第1部 部門30年のあゆみ

第2部 研究会活動の30年

第3部 部門講演会 D&D のあゆみ

第4部 部門関連国内会議

第5部 部門国際交流のあゆみ

第6部 部門関連資格認証

第7部 部門のこれまでとこれから(資料編)

編集後記など

はじめに

30周年記念部門史 発刊に際して



第94期 部門長

河村庄造（豊橋技術科学大学）

機械力学・計測制御部門 30周年部門史の発刊に当たり、一言ご挨拶申し上げます。

機械力学・計測制御部門は、平成28年4月末のデータによれば、学生員を含まない部門登録者の第1～3位合計では5761名で、流体工学部門の6298名に次ぐ登録者数となっています。また第1～5位合計でも、流体工学部門の6998名に次ぐ6717名の登録者数を有します。平成27年度としての総数は34731名（うち正員は28119名）ですから、本部門を1～5位で登録している学会員は、正員の24%程度ということになり、非常に大きな部門であることがわかります。

本部門は、機械工学の学術分野の内、振動工学、音響工学、計測工学、制御工学などを含めた、いわゆる“ダイナミクス&コントロール”に関する幅広い分野をカバーしており、そのことが部門登録者の多さにも現れていると思います。

本部門が設立されてほぼ30年となりましたので、一度本部門の設立の頃を思い出して初心に戻るとともに、新たな活動の駆動力にさせていただきたいと思い、部門史を編纂することとしました。記念誌は、(1) 部門30年のあゆみ（歴代部門長による寄稿）、(2) 研究会活動の30年（これまでの全研究会、全研究分科会からの寄稿）、(3) 部門講演会のあゆみ、(4) 部門関連国内会議、(5) 部門国際交流のあゆみ、(6) 部門関連資格認証、(7) 部門関連の資料 と言う構成になっており、様々な記録を収集する形を取っています。部門史には、部門設立当初のエピソードや、講演会・シンポジウムのスタート時の苦労話が掲載されると思います。本部門に関係する多くの方々に、先人たちの苦労、努力を知っていただくと同時に、今後さらに発展し続けるための重要な資料になることを願っております。

これから10年先、20年先の日本機械学会及び本部門がどのような形になっているかは全くわかりませんが、例え形は今と異なるとしても、本部門が日本機械学会を支える太い柱の一本でありたいと思います。そのためには、本部門と他部門、支部、本部との密接な連携が、これまで以上に必要になると考えられます。またそれを議論し、実行していくためには、学会構成員や学会の担当事務の負担が増大する可能性もあり、慎重な検討が必要でしょう。いずれにしましても、本部門の構成員の皆様におかれましては、本部門により一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、この部門史の発刊に際しまして、内容の企画・立案から取りまとめに至るまで献身的にご担当いただきました編纂委員会幹事の丸山真一先生（群馬大学）と委員会の皆様、並びに膨大な過去のデータの掘り起こしをご担当いただきました学会事務局の橋口公美様に厚く御礼申し上げます。